



総主事レポート

聖書通読運動と聖書通読誌

総主事兼 CSK 主事 嶋田博考

2024 年を振り返ると、北は北海道から南は沖縄まで、さらに海外の日本語教会も含め、多くの方のお祈りとご支援、また実際の聖書通読誌のご購読をいただいたことでした。心から感謝いたします。なお、みことば生活をともにするみなさまの上に、主の豊かな祝福がありますよう心からお祈りいたします。

聖書同盟では、多くの方のみことば生活に絶えずふさわしくお仕えできるよう、みことばの光執筆者講習会を継続しております。今年は 4 月 22 日（月）、東京カベナント教会（東京・世田谷区）をお借りして、第 7 回みことばの光執筆者講習会を開催しました。聖書を読む会総主事の島先克臣師を講師にお迎えし、滋賀県からオンラインで学びをしていただきました。テーマは「木も森も見ろーみことばの光執筆者に求められること」で、オンライン参加の方もいました。聖書 66 卷の一つとしてのその書が、また聖書が全体としてどのようなメッセージを伝えているかを意識することを教えられました。この執筆者講習会は来年も 4 月に開催する予定でいます。

なお、みことばの光編集責任者である矢吹博師の日々の働きのためにお祈りください。矢吹師は、2010 年以来その任を担ってきてくださいました。この 9 年ほどはドイツのフランクフルト日本語キリスト教会牧師を務めながら、編集の働きを続けてきておられます。来年夏以後に日本に帰国される予定です。特に、働きを引き継ぐ方が与えられるよう、お祈りいただければ幸いです。姉妹誌である中高生用の月刊ジュニアみことばの光もまた用いられることを願っています。こちらの編集責任者は石井陵太師です。石井師は日本福音キリスト教会連合（JECA）西上尾福音教会での牧会をしながらの働きです。聖書同盟もそのために励んでおりますが、みことばを愛する恵みを若い方にもお伝えくだされば幸いです。

聖書通読運動の推進のために、総主事兼 CSK（中学生聖書クラブ協力会）主事の嶋田博考が喜んで訪問いたします。礼拝説教とその後の聖書通読に関するセミナーが一般的ですが、礼拝出席と礼拝後のアピールのためにお招きいただくこともあります。できる限り教会の必要に応じた訪問をさせていただきます。ご希望があれば、聖書同盟伝道部にメールまたは電話でご相談ください。

なお、ご献金くださる場合の送金先は、郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部です。その際、振込用紙の通信欄に「聖書通読支援」または「通読誌発行支援」とご明記ください。ちなみに、前者は聖書同盟に対する一般献金の受け皿となっています。

親子で「みことばの光」と「ジュニアみことばの光」を



皆さんは「みことばの光」と「ジュニアみことばの光」の日々の通読箇所が同じであることをご存じでしょうか。大人用の「みことばの光」は1955年から発行され始め、特に中学生たちに焦点を当てた月刊「ジュニアみことばの光」（以後「ジュニみこ」）は1968年に発行され始めました。当初は「ジュニみこ」は3年サイクルで聖書を読む計画で、創世記から黙示録まで残さず読むことはせず、中学生たちに読んでもらいたい箇所を選択して読んでいました。そのうちに、特にクリスチャン・ホームの方々から、大人も中学生も同じ箇所を読んで、お互いに励まし合うことができればいいのか、という要望があり、ある時から同じ箇所を読むように計画を変えました。と言っても、中学生たち（読者の中には小学生や高校生もいますが）に大人と同じ長い箇所を読んでもらうのは大変なので、「ジュニみこ」の方は、その日の箇所の中心的な数節を選んで、そこから学べるように配慮しています。ただし、姉妹誌「みことばの光」と同じ箇所を「チャレンジ」として記載し、聖書全体を通読することも励ましています。

実際に、「みことばの光」を使っているある母親が、「ジュニアみことばの光」を使って聖書を読んでいる小学6年生の娘さんとの経験を聖書同盟に投稿してくださいました。「みことばの光」2024年10月号の巻末「ひろば」に紹介されたものですが、多くの方々にも目を通していただければと思います、転載させていただきます。

小学6年生の娘が「ジュニアみことばの光」を用いて、毎日デボーションを楽しんでいます。彼女が使い始めたのは5年生の1月から。翌2月に難病のために約二ヶ月間の入院をしました。一ヶ月前に始めた「ジュニアみことばの光」と聖書を持つての入院生活が始まりました。振り返れば、神さまが良い時を予め備えてくださったのだと思います。彼女は毎朝、病院で「ジュニアみことばの光」を用いて聖書を開き、デボーションをしていました。誰に言われるのでもなく、毎朝の日課として聖書を開くことができました。初めての長期入院は、神さまのことばに親しむことのできる生活となり、とても充実していたようです。

現在彼女は、毎日5時に起きて、欠かさず聖書を開いて、「ジュニアみことばの光」に書き込んでいます。

思い返せば、私自身も中学生になってから「ジュニアみことばの光」を始めました。現在は「みことばの光」歴30年になります。最近では、先にデボーションを終えた娘から「お母さん、今日の箇所は〇〇だったよ」「きょうは〇〇だったよ」と、ちょっとしたコミュニケーションを楽しむようになりました。親子で同じ聖書の箇所から分かち合うことのできる恵みを味わっています。

娘に負けないように、私自身ももっと神さまに近づきたいと、心から思います。そして、毎日不思議なほど自分に必要なみことばをくださる神さまに感謝します。（埼玉・YTさん）

CSK デボーションリトリートと CSK グループデボーション

CSK では、「ジュニアみことばの光」を使って聖書に親しむ若者たちのため、さらに「みことば生活」が充実したものとなるように、二つの活動を諸教会と協力して続けています。最近の活動をご紹介します。



第3回 CSK デボーションリトリートが、10月13日(日)～14日(月)、JECA 麻溝台キリスト教会(神奈川・相模原市)を会場に開催されました。1日目はカレーをみんなで協力して作っての夕食。2日目は秋晴れの日に、小動物のいる相模原公園に行きました。

プログラムでは、ゆったりとした時間の中でデボーションをし、自分としてみことばから何を受け止めるかを大切にします。グループに分かれていただいた恵みを分かち合います。その後講師から心から語られるメッセージを聞きます。今回は、CSK インキャンプのスタッフである阿部真知子師(JECA 前橋キリスト教会伝道師)が講師をしてくださいました。

みんなで相模原公園へ

オンラインの CSK グループデボーションは、原則的に毎月第2日曜日 20:00～20:40 で継続して開催しています。

その日のジュニみこの聖書箇所を各々読み、心に留まった箇所を1節選び心に留まった理由を考えてメモを取ります。

分かち合いはメモを読むだけでもいいし、パスもあります。最後にそのページの執筆者または編集者のショートメッセージがあります。

どなたか同じ教会の大人も参加してください、というのが条件です。大人の方は、参加する中高生と同席しなくても、自分にいる場所から Zoom 参加してくださることで結構です。参加希望のご連絡を心よりお待ちしております。



今夏の CSK キャンプ

8月12日(月)～16日(金)に開催された、CSK インキャンプおよび CSK アウトキャンプのためにお祈りくださり、心から感謝いたします。それぞれ、吉澤慎也 KGK (キリスト者学生会) 総主事と本多卓也師(JECA キリスト教朝顔教会伝道師)を講師に迎えて、参加教会の中高生の救いと信仰の成長のための良い機会となりました。

改めて振り返ると、「南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意」が発表される中(8日～15日)でのキャンプ開始でした。キャンプ最終日には台風7号が近づきました。JR 小海線が倒木で不通となり、松原湖駅から電車で帰るアウトキャンプの参加者を、不通となっていない区間の山梨県まで車で送る必要がありました。それ以外は無事に、インキャンプとともに参加者がみな無事に帰宅することができました。主

の守りがあったことを感謝しています。今年は2つのキャンプが同日程での開催でした。後援すなわち開催協力する聖書同盟としては、協力主事として働きをともにする稲垣博史理事長がインキャンプ、総主事兼CSK主事の嶋田がアウトキャンプのアドバイザーとして参加しました。

9月23日(月)には、東京カベナント教会をお借りして、キャンプ再会日の集会が開催され、本多卓也師がメッセージをしてくださりました。

すでに来年の第57回CSKキャンプのための準備が始まっています。インキャンプ、アウトキャンプともに8月11日(月)～15日(金)です。それぞれ日本バイブルホーム(群馬県みなかみ町)、松原湖バイブルキャンプ・アウトキャンプ場での開催です。このキャンプに参加教会として加わる教会をお待ちしています。



涼しい木陰での昼食(インキャンプ)

僕はこのCSKキャンプに来て、「五日間は長いな」と思っていたけど、いま思うと、「けっこう短いな」と思って、すこし悲しい気持ちがあります。このキャンプで、印象に残ったのは、二日目の山登りの日や、みんなといっしょにやったカードゲームなど。もっと色々あってとても楽しかったし、本多先生のメッセージも、疑問や発見があって、もっと聖書おもしろくなりました。(アウトキャンプ参加 中1男子)

第9回SU東西アジア青少年国際キャンプまもなく開催

第9回SU東西アジア青少年国際キャンプは、インドネシアのボゴールに向けて、12月25日(水)の出発で、1月3日(金)の帰国です。毎回、このキャンプには楽しいプログラムが多くあります。英語力の違いは確かにあるのですが、そこから神さまからの語りかけをキャッチし、終盤にある断食では(強制ではありません)、それぞれに神さまとの充実した交わりを持ちます。そして、この静まりの時間の大切さを経験的に知ることができます。

今回の参加者はキャンパーとオフィサー(引率スタッフ)で36名です。これまで日本の聖書同盟からの参加者が最も多いキャンプが続きましたが、今回は韓国のソンソユニオンからの参加者が最も多いとのこと。北は北海道の帯広や札幌から南は九州の宮崎や熊本まで、日本の各地から参加があり感謝しています。

参加者全員を対象とするオンラインのミーティングは3回ですが、それとは別に、10月は各地でなるべく顔と顔を合わせられるよう、対面の事前ミーティングを開催しました。名古屋・関西・宮崎・熊本、北海道・関東の順でした。国際キャンプ委員長と同委員の引率リーダーと総主事の3名がそれぞれに訪問し、オンラインも用いました。開催に協力して下さった各教会に心から感謝いたします。



なお、「国際キャンプ基金」に多くの献金が寄せられ、心から感謝しております。成田空港と関西空港からのフライトですが、そこまで国内の移動を必要とする参加者もいます。その負担軽減など、有意義に用いたいと考えています。旅の安全とキャンプの祝福のためにお祈りください。

北海道・旭川と近郊の CSK 協力

CSK お泊り会 in 旭川

日時：2025 年 2 月 23 日（日）～24 日（月）

会場：日本ホーリネス教団・旭川福音教会（旭川市豊岡 12 条 6 丁目 6-12）

テーマ：イエス様から自分で聞こう

参加費：500 円

旭川で CSK お泊り会が開催されます。北海道の中高校生へのみことば生活の分かち合いの開始です。前号で 1 月とお伝えしましたが、2 月の開催になりました。聖書を開くセッションは、笹川洋史師（基督兄弟団旭川栄光教会）と山本門師（JECA 永山福音キリスト教会）と嶋田博考 CSK 主事が担当します。神の被造物という視点で冬の旭山動物園に出かける、楽しいプログラムもあります。多くの教会から中高生が集められるよう、お祈りいただければ幸いです。

2025 年 3 月に第 56 回 CSK 中学科教師研修会が開催されます

日時：2025 年 3 月 1 日（土）

会場：保守バプテスト同盟・御徒町キリスト教会（台東区小島 2-19-16 FK21 ビル）

大江戸線・つくばエクスプレス「新御徒町駅」、JR「御徒町駅」、
東京メトロ日比谷線「仲御徒町駅」、銀座線「稲荷町駅」から徒歩

講師：岡村直樹師（東京基督教大学教授、日本同盟基督教団神学教師）

（詳細は案内チラシおよびホームページで）

出版についてのお知らせ

現在出版部で発行準備中のタイトルは以下の通りです。

「ルカと旅する聖書の世界」（新版）元聖書同盟視聴覚部主事の飯島勅師が、ルカ福音書と使徒の働きの記事に沿って何年にも亘り旅をして撮影した豊富な写真と地図と解説によって、聖書の世界が目の前に広がります。

「日ごとに」（改訂版）テーマ別に関連する聖句だけで編集した 366 日分の聖書日課。新改訳聖書 2017 の聖書本文に改訂した新版です。

「基本聖句集」（改訂版）聖書教理の基となる聖句をテーマごとに集めてあり、教会での教理の学びに広く使われてきました。改訂版は、新改訳聖書 2017 の聖書本文を使用し、新しいフォーマットで聖句索引もあり使いやすくなります。これまで B5 版でしたが、改訂版は A5 版となります。

クラウドファンディングご協力をお願い

「ルカと旅する聖書の世界—新約聖書の地理・歴史—」 飯島勅著

聖書同盟は出版事業を伝道の一環として行っており、多くの皆様へ良書を読んでもらいたいため少数の書籍を安価で提供するように努めております。出版からの利益を求めない反面、毎回の製作費の捻出に苦慮することが出てきます。今回は、出版をスムーズな形で実施し、手に入りやすい定価をつけるために、クラウドファンディングにより資金を集めることといたしました。ご支援お願いいたします。

実施プロジェクト 新刊の出版

目標金額：170万円

実施期間：2024年12月1日(日)～12月28日(土)

実施場所：[KARASHIDANE -キリスト教専門クラウドファンディングサイト-](https://karashi-dane.com) (karashi-dane.com)

なお、クラウドファンディングには「リターン」というものがあります。新刊「ルカと旅する聖書の世界」を支援額に応じて贈呈します。



飯島勅著「ルカと旅する聖書の世界—新約聖書の地理・歴史—」

A5版 350頁オールカラー 2025年1月30日発行予定 定価 2,970円(税込)

ルカの足跡を追って旅をした著者自身による多くの写真と文章で「ルカの福音書」「使徒の働き」の背景であるローマ世界を旅します。読者は、ルカが歩いた道(地理)、経験した時(歴史)を共有することにより、彼と同じ確信、すなわち“神のことは確かである”ことへ導かれるでしょう。

プロジェクトを支援するには

期間中、[KARASHIDANE -キリスト教専門クラウドファンディング-](https://karashi-dane.com) (karashi-dane.com)よりお申込みください。

聖書同盟のホームページよりクラウドファンディングサイトへアクセスすることもできます。



発行：一般社団法人 聖書同盟 Scripture Union Japan
〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町 432-304
TEL 044-900-9047(出版部) 044-900-8990(伝道部) FAX 044-900-9048
E-Mail info@su.jp.org ホームページ <http://www.scriptures.su.jp.org/>

献金送金先 郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部
銀行口座：三菱 UFJ 銀行登戸支店(店番 258)普通 1138865 聖書同盟伝道部
出版物関係送金先 郵便振替：00140-4-57061 聖書同盟出版部